

【記入例(法第20条第4号木造)】

構造耐力規定に関する既存不適格調書

(宛先) 建築主事 殿

建築主 氏名 〇〇 〇〇 印

調査者 住所 各務原市那加桜町〇-〇〇
 (設計者) 資格 (一級)建築士(大臣)登録第〇〇〇〇〇号
 氏名 〇〇 〇〇 印
 電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

増築等に係る既存建築物に対する構造耐力規定(法20条)の緩和規定(法第86条の7・令第137条の2)適用にあたり報告します。

1. 増築等に係る部分の概要

増築等に係る部分の床面積の合計(a)	70 m ²	基準時以降に増築等を行った部分の面積(b)	m ²
基準時における延べ面積(A)	180 m ²	c) = A/20: 9 (d) = A/2: 90	
該当する適用区分に○付	×	適用区分1 基準時の1/20以下かつ50m ² 以下(令第137条の2第二号) … a+b ≤ c, 50	
	○	適用区分2 基準時の1/2以下(令第137条の2第一号) … a+b ≤ d	
接続部	<input checked="" type="checkbox"/> EXP.J等既設に影響を与えない→	<input checked="" type="checkbox"/> 増築部の基礎とは干渉しないことを確認	<input type="checkbox"/> その他

2. 既存不適格建築物の概要

既存不適格となっている部分、規定、基準時	(部分) S54年建設の建築物の部分の布基礎の部分 ※記入欄が不足する場合は別紙添付	(規定) 布基礎	(基準時) H12年6月1日	
建物名称等	名称	〇〇邸		
	所有者(管理者)	〇〇 〇〇		
	所在地	各務原市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇		
	用途	一戸建ての住宅	竣工年月	昭和54年10月
	設計者	〇〇 〇〇		
	施工者	〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇		
建物履歴 ※1	増築、改築、用途変更	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (年 増・改・修・模・用・除 m ²)		
	修繕・模様替、除却	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (年 増・改・修・模・用・除 m ²)		
	火災等被災歴	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (年被災)		
構造概要	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()			
階	1F	2F	合計	
床面積(m ²)	100	80	180	

3. 設計図書等の有無

意匠図	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	構造図	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
構造計算書	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	地質調査資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
確認申請書	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	確認番号	第〇〇〇〇〇号 第〇〇〇〇〇号(増築)

4. 新築又は増築等の時期を示す書類 ※2

<input type="checkbox"/> 検査済証	<input type="checkbox"/> 建築確認台帳に係る記載事項証明	<input checked="" type="checkbox"/> 確認済証	<input type="checkbox"/> 登記事項証明書
<input checked="" type="checkbox"/> その他(既存家屋証明書)			

5. 基準時以前の建築基準関係規定の適合

<input checked="" type="checkbox"/> 基準時以前の建築基準関係規定に適合することを確認	
確認方法(概要)	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 図面(意匠図・構造図・施工図)と現地の照合 <input type="checkbox"/> その他()

6. 構造耐力規定の緩和条件 (注意)適用区分1～3のいずれか及び各適用区分内のすべての項目に該当すること

<input type="checkbox"/> 適用区分1 ※3	基準時の1/20以下かつ50㎡以下(令第137条の2第二号)
<input type="checkbox"/> 増築等に係る部分以外の部分とは構造耐力上の危険性が增大しない接続方法(<input type="checkbox"/> EXP.J等 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 増築等に係る部分が令第3章(構造強度)等の規定に適合する	

<input checked="" type="checkbox"/> 適用区分2 (共通)	基準時の1/2以下(令第137条の2第一号イ)
<input checked="" type="checkbox"/> 耐久性等関係規定に適合する →7-1へ <input checked="" type="checkbox"/> 地震以外の荷重条件下で安全を確かめた 確認方法: <input type="checkbox"/> 許容応力度計算等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(令第46条第4項(風圧力による検討)) <input checked="" type="checkbox"/> 建築設備(屋上突出の水槽・煙突・給排水管・昇降機等)は、各規定に適合する <input checked="" type="checkbox"/> 屋根ふき材等は、昭46建告109の基準に適合する	
下記適用区分 2-1～2-5 のいずれかに該当	
<input type="checkbox"/> 適用区分2-1	平17国交告566第1第一号ロ
<input type="checkbox"/> 地震に対して建築物全体を現行基準の許容応力度計算等によって安全を確かめた(構造担当者との事前協議が必要) ※4	
<input type="checkbox"/> 適用区分2-2	平17国交告566第1第一号ハ
<input type="checkbox"/> 地震に対して増築等の接続部分にEXP.J等を設け、既存建築物を耐震診断によって安全を確かめた →7-2へ	
<input type="checkbox"/> 適用区分2-3	平17国交告566第1第一号ハ
<input type="checkbox"/> 地震に対して増築等の接続部分にEXP.J等を設け、既存建築物が新耐震基準に適合することを確かめた →7-3へ	
<input checked="" type="checkbox"/> 適用区分2-4	平17国交告566第1第一号ロ (第20条第四号:木造在来軸組工法) ※5
<input checked="" type="checkbox"/> 令第42条(土台及び基礎) 柱の最下階の下部に土台があり、基礎に緊結されている <input checked="" type="checkbox"/> 令第43条(柱の小径) 柱の小径が基準値以内、通し柱が適正に配置されている等 <input checked="" type="checkbox"/> 令第46条(構造耐力上必要な軸組等) 壁又は筋かいが釣合いよく配置され、隅角に火打材があり、小屋組に振れ止めがある等 <input checked="" type="checkbox"/> 〃 階数が2以上又は延べ面積が50㎡をこえる場合は壁量計算及び壁率比等により安全を確認	
<input type="checkbox"/> 適用区分2-5	平17国交告566第1第一号ロ (法第20条第四号:枠組壁工法又は木質プレハブ工法) ※5
<input type="checkbox"/> 平13国交告1540 第1から第10までの規定に適合	

<input type="checkbox"/> 適用区分3	基準時の1/2以下(令第137条の2第一号ロ:第20条第四号) ※5
<input type="checkbox"/> 令第3章第1節から第7節の2まで(第36条及び第38条第2項から第4項までを除く。)の規定に適合 <input type="checkbox"/> 基礎の補強について平17国交告566第2の規定に適合	

7. 安全確認の方法

7-1 耐久性等関係規定の確認	
確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 図面(<u>意匠図</u> ・ <u>構造図</u> ・ 施工図)と現地の照合 <input type="checkbox"/> その他()

7-2 耐震診断によって安全を確認 ※6	
<input type="checkbox"/> 平17国交告566第1第一号ハにより、平18国交告185に定める基準(平18国交告184別添)によって安全を確認した	

7-3 新耐震基準への適合性によって安全を確認 ※6	
確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 図面(<u>意匠図</u> ・ <u>構造図</u> ・ <u>施工図</u>)と現地の照合 <input type="checkbox"/> 構造計算書の確認 <input type="checkbox"/> その他()

8. 総合所見	現地調査の結果、既存の図面どおり施工されており、施工状態も良好であった。また、令第46条第4項による壁量計算及び偏りのチェックを行い、適合していることを確認した。その他、法適合性について上記のとおり現地調査及び既存図面により確認した。
---------	---

<添付図書>

- ※1 既往工事の履歴がある場合は、既存建築物の平面図及び配置図に各既往工事に係る建築物の部分に分かるように示すこと。
- ※2 建築年が明記された公的証明書:確認済証(写)、検査済証(写)又は同証明書、登記事項証明書、他
- ※3 構造関係規定について危険性等が増大しない旨、調査者(設計者)の考え方を示すこと。
- ※4 構造図及び構造計算書(地震に対して安全な構造であることを確かめるためのもの)を添付すること。
- ※5 各規定に適合していることを示す図書を添付すること。
- ※6 耐震診断等報告書(別紙様式)を添付すること。ただし、第三者機関による耐震診断の評定を受けた場合は、評価書(写)の添付をもって替えることができる。
- ※7 その他必要と認め指示したものを添付すること。

別紙

【記入例(法第20条第4号木造)】

2. 既存不適格建築物の概要

既存不適格となっている部分、規定、基準時

(部分)	(規定)	(基準時)
S54年建設の建築物の部分の継手及び仕口の部分	継手及び仕口	平成12年6月1日